



会長メッセージ

100年企業に向けて

さらなる成長への新たな一歩を

代表取締役会長

小野木 孝二

社会や事業環境の変化を見極め新たなステージへ

私は社長の任を2023年に次世代へと託し、会長としての立場からグループを支えることとなりました。2025年は創立70周年を迎える大きな節目の年です。また同時に、社会も人口減少による人手不足やインフレなど、大きな変化に見舞われ、グループを取り巻く事業環境も急速に変化しています。たとえば、病院関連事業の主要なお取引先である医療機関や介護施設では、2024年に診療報酬や介護報酬が引き上げられたものの、高まる人件費を補うに留まっており、エネルギーコストや資材コストの高騰に対応するには至っていません。お客様がこうした厳しい状況にあるなか、当社グループも物価高のあおりを受けていますが、コスト高の影響を十分に価格に転嫁できているとはいえない状況が続いています。また、調剤薬局についても、毎年行われる薬価改定が業績に影響を与えています。

しかし、そうした環境下こそ、改めて社会に必要とされる役割やサービスを考えるチャンスでもあります。トーカイグループは、創業者が高度経済成長期に建設現場向けに貸布団事業を始めたことを起源としていますが、その後、社会の変化をいち早く読み取り、病院用寝具のレンタルやリースキンに着手しました。私が社長に就任してからも、調剤薬局や介護用品レンタルなど、社会のニーズに応える事業を創出してきました。企業には永続性が求められますが、事業には永続性がなく、必ず成長期、成熟期を経て、衰退期が訪れます。新たなステージへと歩みを進めるうえで、今後も成長期が続く事業の強化や成熟期に入っている事業の見直し、撤退する事業の判断などを行うことは不可欠です。この節目のときを契機として、これまでの成果と課題をしっかりと振り返り、新たな柱となる事業を創出することが、最も大きなテーマになると考えています。

「清潔と健康」の領域で社会に貢献できる新規事業を開拓

新規事業創出において重要なポイントは、まずチャレンジの一歩を踏み出すこと、そして、市場の声を聞き、納得が得られるサービスであるかどうかをしっかりと見極めることにあります。その点では、浅井社長が就任以来、改めて現場の声に耳を傾けることに注力しており、そこから多くの情報を吸収して、お客様が抱える新たなニーズを見つけ出し、提供していきたいと考えています。

なかでも、今後高齢化の進行に伴い、在宅介護の需要が増えていくと予想されます。そうした状況を支えるべく、介護報酬や診療報酬に左右されず、豊かで健やかな生活を送るためにご利用者が納得して契約していただける保険外サービスの提供は、大きな可能性を秘めた分野だと感じています。当社グループは「清潔と健康」に関する幅広い事業を展開し、調剤薬局を利用する患者さまや介護用品レンタルのご利用者など、在宅サービスにおける多く

の潜在顧客と接点を有しています。既存の事業部門を超えた連携を深めていくことで、可能性はさらに広がるはずです。新たなニーズに対してグループを挙げて情報を共有し、さまざまな視点を持つ人材が意見を出し合いながら、新たな事業分野を開拓していきます。

トーカイグループが特化してきた「清潔と健康」は、社会において、ますます重要度が高まっていくテーマです。これからも、お客様に選び続けていただけることへの感謝を忘れず、課題や要望に応えるサービスを具現化して、この領域で社会に貢献できる企業になるべく、進化を続けてまいります。

トーカイグループの事業領域

当社グループは、「清潔と健康」「レンタル」「医療と介護」の3つを軸に、人々の快適な暮らしと安全で健康的な生活を支える事業を展開しています。

清潔と健康

「清潔と健康」を主要な事業テーマに掲げ、長年にわたり「衛生管理のプロ」として培ってきた技術やノウハウを生かし、これからの時代における社会の要請に応えていきます。

レンタル

社会が必要とするサービスを環境負荷の少ない「レンタル」によって提供することで、持続可能な社会の実現に貢献しています。

医療と介護

数多くの医療機関や介護福祉施設にさまざまなサービスを提供しているほか、在宅医療や在宅介護をサポートするサービスにも注力しています。

「医療と介護の現場」を支える



リネンサプライ
寝具やユニフォーム、カーテンなどリネン類全般のレンタル



看護補助
ベッドメイキング、カルテ搬送、器具滅菌など医療行為以外の支援



院内物流管理
注射器、カテーテル、薬剤など医療材料の管理、搬送



給食
普通食のほか、病状に合わせた治療食や、高齢者のためのソフト食の提供



清掃
感染防止のための病院清掃や介護福祉施設の日常清掃



入院・入居セット
入院・入居生活に必要な日用品やリネン類を日額定額制で提供



ネクサージ
手術用リネンのリユース



「高齢者の自立した生活」を支える

介護用品のレンタル・販売
介護保険制度に基づく介護用品のレンタル・販売、住宅改修

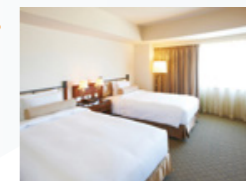


リハビリ特化型デイサービス
高齢者の身体機能維持・向上を目的としたリハビリ特化型デイサービス施設「ミック健康の森」の運営



「日々の清潔な暮らし」を支える

寝具類のレンタル・リネンサプライ
宿泊施設向けの寝具類のレンタルおよびリネンサプライ



リネンサプライ工場の設備開発・製造
リネンサプライ工場の仕上げ工程における省人化設備の開発・製造



リースキン
環境美化用品のレンタル・販売を行うフランチャイズチェーンを全国展開



アクアクララ
自社プラントで製造する飲用水の宅配



「地域の皆さまの健康」を支える



調剤薬局
医療機関門前を中心とした保険薬局「たんぼ薬局」を東海・北陸・関西・四国エリアで158店舗展開



ドラッグストア
地域に根差したドラッグストア「ドラッグミック」を関西エリアで12店舗展開

トーカイグループの価値創造プロセス

トーカイグループは、「清潔と健康」というテーマと「レンタル」というビジネスモデルを軸に、安心・安全な暮らしを支えるサービスを提供しています。こうした事業活動を通じて、当社グループならではの価値を追求しながら、「Vision2035」で掲げたありたい姿の実現に向けて、中期経営計画を推進しています。



OUTPUT (生み出される成果)

ヘルスケアと環境の領域で幅広いサービスやアイテムを提供

- 病院・施設、ホテル向けリネンサプライ
- 入院・入居時の日用品レンタル (入院・入居セット)
- 手術用リネンリユース(ネクサージ)
- 病院・施設向け給食
- 介護用品レンタル
- リハビリデイサービス
- クリーニング設備製造
- 調剤薬局
- ドラッグストア
- 環境美化用品レンタル(リースキン)
- 病院・施設向け清掃

OUTCOME (社会に提供する価値)

経営実績 (2025年3月期)

売上高	1,495億円
営業利益	82億円
ROE	5.5%

- 持続的な医療・介護の実現を支えるサービスの提供
- 高齢者の自立支援と健康寿命の延伸
- 現場の人手不足に対応する商品・サービスの拡充
- 人々の安心・快適な暮らしのサポート
- 地球にやさしいビジネスモデルの構築

2035年のありたい姿

価値創造に向けた成長戦略 P.19~

Vision2035

人々の「清潔」で「健康」な暮らしを支えるインフラ企業として、「健康長寿社会」の実現に貢献する

経営目標 (2035年3月期)

売上高	2,500億円
営業利益	160億円
ROE	10%

トーカイグループが実現に貢献したい社会の姿

- 人生100年時代を健やかに、自分らしく生きられる
- 医療・介護が必要になっても安心して暮らせる
- どこにいても安心して過ごせる衛生的な空間










トーカイグループの強み

トーカイグループは、70年にわたる事業活動を通じて、清潔と健康のプロとしての人財や持続可能なビジネスモデル、生産体制、顧客基盤といった経営資源を培ってきました。これらの強みを生かし、社会課題の解決と持続的な成長に取り組んでいます。

01 清潔と健康を守るプロとしての 人財

当社グループには、福祉用具専門相談員や薬剤師をはじめ、医療・介護の現場を支える約6,000人の従業員が在籍し、専門教育を受けたプロフェッショナルとして活躍しています。当社グループが、病院向け寝具レンタル・リネンサプライの提供を起点に、給食、清掃、滅菌、院内物流管理、看護補助など、事業を拡大できた原動力は、清潔と健康を守るプロとしてのスキルと、「お客様第一に徹する」という価値観を持つ人財の力です。

主な資格保有者数 ※ 臨時従業員は含まない					
 福祉用具専門相談員	1,097人	 福祉住環境コーディネーター2級	730人	 管理栄養士	61人
 福祉用具選定士	366人	 薬剤師	652人	 栄養士	75人
		 調理師	201人		



事業活動を通じて 築き上げた サービス・顧客基盤

これらの強みを生かした事業活動の継続により、確かなサービス品質とお客様との信頼関係を追求してきたトーカイグループ。現在では、社会課題の解決に資する幅広いサービスを東北から九州エリアを中心に全国規模で展開し、多様な分野でのお客様とのつながりを構築しています。

全国に広がる 幅広いサービス展開

- 病院リネン工場 11拠点
 - ホテルリネン工場 6拠点
 - 介護用品レンタル営業所 95拠点
 - 介護用品メンテナンスセンター 11拠点
 - リハビリデイサービス 33店舗
 - 調剤薬局 158店舗
 - ドラッグストア 12拠点
 - リースキン工場 2拠点
- ※非連結子会社を含む

多様な顧客とのつながり

医療機関等とのつながり

医療機関
取引先 約1,000件
(リネンサプライ契約件数)

介護福祉施設
取引先 約2,900件
(リネンサプライ契約件数)

地域医療におけるつながり

調剤薬局
年間利用者 約700,000人

ドラッグストア
年間延べ利用者 約190万人

在宅高齢者とのつながり

介護用品レンタル
利用者 約143,000人

リハビリ特化型デイサービス
利用者 約2,500人

居宅介護支援事業所
(ケアマネジャー)
約17,500件

清潔な暮らしにおけるつながり

ホテル等宿泊施設
取引先 約1,900件
(リネンサプライ契約件数)

リースキン
フランチャイズチェーン
加盟店 全国 約900拠点
トイレアドバイザー 約500人

02 事業と社会の持続可能性を支える レンタルビジネス

当社グループは創業以来、限られた資源を有効活用する「レンタル」を軸に事業を展開し、循環型社会の実現に貢献しています。1955年に建設現場向けの貸布団事業からスタートし、当時から売り切りではなく継続的な取引を重視するレンタルモデルを通じて、安定した収益と顧客との信頼関係を築いてきました。その後も時代のニーズに応じて、病院用寝具、リネンサプライ、ダストコントロール商品、介護用品、手術用リネンなど、事業領域を拡大しながら、社会課題の解決に取り組んでいます。



03 高品質の製品を提供し続ける 生産力

回収したレンタル商品は、自社のリネンサプライ工場や介護用品メンテナンスセンターで清潔かつ安心して使用できる状態に再生し、繰り返しお客様にお届けします。洗浄工程では、水温・洗浄時間・洗剤量を最適化する独自のノウハウにより、リネン類のダメージを最小限に抑制。さらに、仕上げ工程では多くの省人化設備を導入し、人手不足に対応しながら高品質な生産体制を構築しています。また、リネンサプライ以外でも、古くなった布団類の仕立て直しや、車いすなどの介護用品の分解・再組み立てを行うことで、製品寿命を最大限に延ばし、廃棄物削減に取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、高品質な製品を持続的に提供し続けるとともに、環境負荷の低減と資源の有効活用を実現しています。



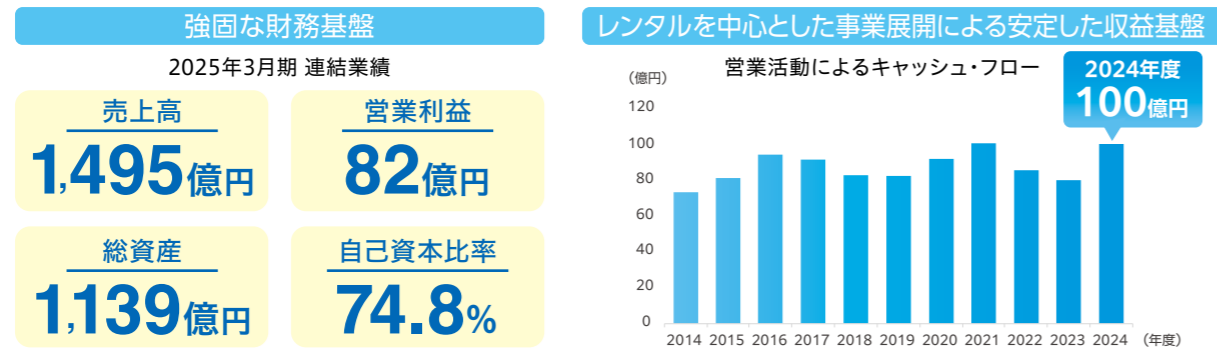
価値創造の源泉となる6つの資本

トーカイグループは、長年にわたり培ってきた経営資本を基盤に、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組んでいます。こうした実践が新たな価値を創出し、経営資本のさらなる強化と持続的な成長の好循環を生み出しています。

財務資本

当社グループは、創業以来のレンタル事業を通じて安定的な営業キャッシュフローを継続的に創出しており、これが強固な財務基盤の形成につながっています。この健全な財務体質を背景に、事業展開を通じて社会課題の解決に取り組みながら、堅実な成長を維持しています。

今後は、事業ポートフォリオを意識した各事業の収益性向上を図るとともに、成長投資と株主還元のバランスを取りながら、資本効率のさらなる向上を目指します。



▶ 関連 P.30 中期経営計画 基本方針5「バランスの取れた成長投資と株主還元の実施」

製造・サービス資本

当社グループには、「清潔と健康」をテーマに事業を展開するグループ会社が多数存在し、多様なサービスを全国規模で提供する体制が整備されています。中でも、長年にわたりレンタルビジネスで培ってきたノウハウを生かし、品質や生産性の向上を追求する洗濯工場や、各種サービスの提供拠点は、当社の事業展開の基盤として重要な役割を果たしています。

2028年3月期までの中期経営計画では、既存事業の新規出店や工場の設備更新など、事業の拡大・維持に向けた設備投資として、3カ年累計で約150億円を計画しています。加えて、「清潔と健康」をテーマとした新規事業分野におけるM&Aなどの成長投資として、同じく3カ年累計で約100億円を見込んでいます。これらの積極的な投資を通じて、生産・サービス体制のさらなる強化を図ります。



人的資本

当社グループは、「お客様第一」の価値観のもと、医療・介護現場で専門性の高い人材が多様なニーズに応じたサービスを提供しています。また、サービスの質のさらなる向上や専門性の強化を目的に、研修や資格取得支援体制を拡充。人事制度や組織の見直しにも取り組み、働きがいの向上を図るとともにDE&Iを推進しています。



▶ 関連 P.29 中期経営計画 基本方針4「人的資本への投資が成長につながる好循環の確立」

知的資本

当社グループは、レンタルビジネスで蓄積してきた確かなノウハウを基に、洗濯・滅菌・感染管理などの技術を磨き、現場に応じた専門性と対応力を高めています。また、多数のオリジナル商品を展開するリースキンのフランチャイズ運営力や、全国で600人を超えるトイレアドバイザーによる衛生サービスも、現場を支える重要な要素です。

今後は、システム・IT基盤への投資に加え、全従業員のデジタルリテラシーの底上げおよび対話型生成AIの活用を通じて、業務の効率化と価値創出に注力していきます。

社会関係資本

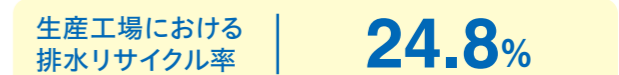
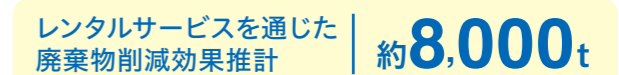
当社グループは、医療機関や介護福祉施設、ケアマネジャーなどの地域包括ケアに関わる多様なステークホルダーとのつながりを持つとともに、飲食店やホテルなど生活インフラを支える業種にも幅広くサービスを提供するなど、地域に根ざした事業を展開しています。

また、全国に広がる約900拠点のリースキンFC加盟店によるネットワークに加え、寝具類の洗濯に関しては約100社の協力パートナーとの連携体制を構築しており、これらは積極的な事業展開を支える重要な基盤となっています。

自然資本

当社グループの中核を成すレンタルビジネスは、繰り返し利用することを前提とした環境負荷の少ないビジネスモデルであり、さらには洗濯工場での燃料使用量の削減や排水リサイクル、太陽光発電の活用など、徹底した環境負荷低減に取り組んでいます。

引き続き、レンタルモデルによるサーキュラーエコノミーの推進と、事業活動を通じた環境負荷低減の取り組みを通じて、2050年度のカーボンニュートラルの実現を目指します。



▶ 関連 P.45～49 地球環境への取り組み